平成25年12月

一般社団法人 山梨県理学療法士会会報誌

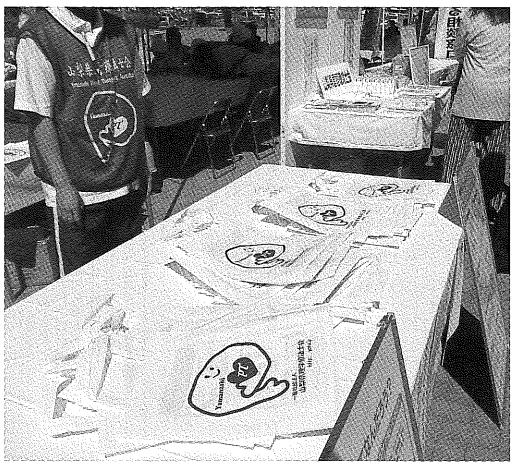
supporters

サポーターズ

No.140 2013 冬号

一般社団法人
山梨県理学療法士会ホームページ http://ypta.jp/　会員数 740 名　施設数 103（12月6日現在）

▲第17回山梨県理学療法士会学術集会



▲いきいき山梨ねんりんピック2013

Contents

特集「第17回山梨県理学療法士会学術集会」報告…２～４
- 学会を終えて（演題発表者感想）

各部活動報告…５～７
- 医療保険部・介護保険部
- スポーツPT部
- 学術研修部
- 広報部
- 生涯学習部

お知らせ…８～10
- 事務管理局
- 公開講座部
- 地域連携部
- 社会局

リレーエッセイ Part22…11～12
原稿募集…12
編集後記…13

「supporters（サポーターズ）」とは・・・
我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、『支える人』という意味のsupporterに複数形のSを加え、supporters：支える人たち（造語）の意味です。

特集「第17回山梨県理学療法士会学術集会」報告

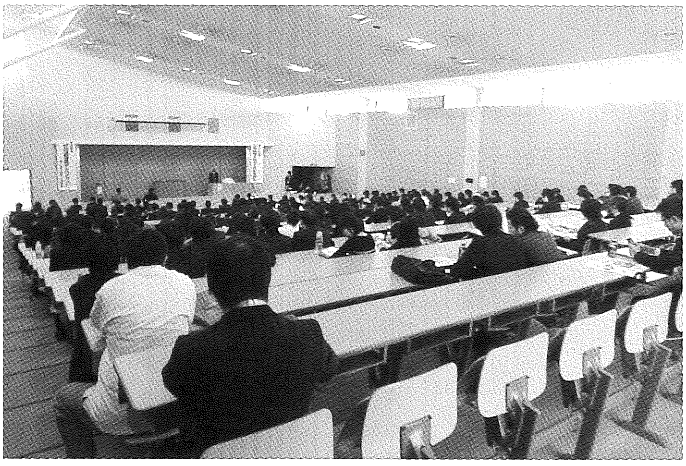
●日　時　平成25年11月24日(日)　●場　所　山梨県立大学 池田キャンパス
●特別講演　「統合的運動連鎖概念とそのメカニズム」　飯山赤十字病院　山岸茂則先生

平成25年11月24日(日)に第17回山梨県理学療法士会学術集会が山梨県立大学池田キャンパスにて開催されました。今大会の特別講演は「統合的運動連鎖概念とそのメカニズム」をテーマに飯山赤十字病院の山岸茂則先生をお招きして、運動連鎖概念について講演して頂きました。ヒトの構造特性や力学を中心に理論を説明して頂きながら、その考えを基にした実技デモンストレーションで実践場面を提示して頂きました。説明も非常にわかりやすく、理論と実技の理解を深めることができました。また、考えが混同しやすいCOPとCOGを分けてとらえ、治療に応用していく点は個人的に大変興味深く、勉強になりました。理学療法を進めていく上で必要な臨床推論の一助になったと思います。

午後からは県士会員による演題発表が行われ、24演題が発表されました。今年も3年目を中心とした若い年代の発表者が大半でしたが、今後はその他の年代の方々からの演題発表も期待したいと思います。発表された皆様お疲れさまでした。

さて、今年度の参加者は212名(会員211名、非会員1名)で、2009年をピークに4年連続で減少となりました。また、昨年が38演題であったのに比べると今年は演題数の低下も著明であり、生涯学習システム変更に伴う影響も受けていると感じています。来年は、全国的にも初の試みである3士会合同の学術集会を行う予定です。理学療法だけでなく、山梨県のリハビリテーションをいかに盛り上げていくという意味でも、多くの演題発表が募ることを切に願います。今後は多くの皆様が参加しやすい学会の企画・運営を目指して参りますので、今後もご協力のほどよろしくお願い致します。

山梨県理学療法士会学術局学術集会部
山梨リハビリテーション病院　鮎川将之



学会を終えて

Report1

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院　馬場大介

今回、第17回学術集会にて「後方歩行における体幹・股関節伸展筋活動 ―体幹前屈角度の影響―」という演題で発表させて頂きました。

私は、今まで県士会の学術集会に参加したことがありませんでした。そのため、どのような雰囲気で発表するのか全くわからず、不安と焦りで一杯でした。

院内の予行演習では、自分の伝えたいことがうまく説明出来ず、苦い思いをしました。人前で発表することが苦手な自分にとって、正直、逃げ出したい気持ちでした。

しかし、自分の言いたいことを人に伝えることの難しさを改めて実感でき、よい経験を積むことができました。質疑応答では、焦らず端的に言おうと自分の中で決め、本番ではそれが自分なりに達成できたので、少し自信に繋がりました。今回の経験を実際の臨床場面に活かしていきたいと思います。

最後に、今回発表するにあたり携わって下さった運営スタッフの方々、研究のアドバイスをして下さった先生方に心から感謝申し上げます。

Report2

甲州リハビリテーション病院　森川涼子

今回第17回山梨県理学療法士会学術集会にて「クアドセッティング時の膝屈曲角度が膝伸展筋力に及ぼす影響」というテーマの研究を発表させて頂きました。

研究準備は昨年12月から研究チームにサポートしてもらいながら行ってきました。実験を行う際にも設定や実験後の考察、発表に至るまで昼や夕方に何度もチームに相談にのっていただきました。余演会も行い、たくさん意見を頂き「なにを今さら何をジタバタしているの！ ほら、自信をもって行ってこ～い！」と勇気付けられました。

当日、発表はうまく伝わるか質問にはしっかり返答できるかの不安があり緊張しましたが、発表の7分はとても短く感じました。また聞いて下さった先生方に意見や質問を頂け、貴重な時間になりました。

今回の発表は私にとって大きな経験となりました。日々の仕事の中で私の研究のために時間を割きアドバイスをくれ、励ましてくれた職場の方々には、とても感謝しています。この経験を大切にしながら成長していきたいです。

Report3

山梨リハビリテーション病院　佐藤恵太

今回、研究内容を発表させて頂き、得たものがたくさんあり、私にとって大変貴重な経験となりました。学生時代からリハビリテーションに関わるセラピストは常に臨床、教育、研究活動が必要と教えられてきました。理学療法士として４年目に入り、臨床で生まれた疑問からより効果的な方法はないのかを考え、研究により妥当性の高い理学療法を提供していく必要性を感じました。

当日の発表では、緊張から予定していた時間よりも早く終わってしまい、質疑応答でもいくつかの意見や質問に対して明確な答えを出すことが出来なかったことから、自分の未熟さを痛感しました。しかし、自分の研究を客観的に見て頂いたことで新たな研究の可能性も広がったと考えています。

今回、抄録作成や発表に関してご指導くださいました先生方、学術集会のスタッフの皆様に厚く御礼を申し上げます。

Report4

しもべ病院　伊藤泰史

第17回学術集会では、「へき地における地域在住高齢女性の二重課題下歩行に関する調査」をテーマに発表させて頂きました。

過疎化の進んだ山間地域外来リハビリテーションに携わる中で、高齢者の転倒予防に繋がる研究が出来ればと取り組んできました。しかし、初めての研究という事もありデータの解析や文章構成、緊張した中での発表と考えを伝える難しさを再認識する事ができました。今回の発表は臨床現場で感じている事を整理するいい機会となり、今後の仕事にプラスになると感じています。

今後は、年齢や薬剤、住宅環境などの調査を行い転倒との因果関係を更にまとめる必要があると感じています。地域高齢者のリハビリテーションをより良いものにするためスタッフ一同取り組んでいきたいと思います。

今回の研究に協力して頂いた外来患者様、ご指導頂いた諸先生方、理学療法科スタッフ、会場設営して頂いた運営スタッフの皆様に感謝致します。

各部 活動報告

福祉厚生局 医療保険部・介護保険部発

□「医療・介護保険部合同研修会」報告

平成25年10月25日（山梨県青少年センター）、29日（甲斐市敷島総合文化会館）、医療・介護保険部合同研修会が開催されました。経験年数3年目までを主な対象として、「診療・介護報酬に関する基礎的研修」をテーマに開催しました。参加者は両会場合わせて38名でした。診療報酬については白根徳洲会病院小林先生、介護報酬についてはフルリールむかわ高橋先生にご講義頂きました。

ベテランのお二人の先生からは、今後行われる国の施策や社会保障制度等についても分かりやすく説明頂き、今日設定されている診療・介護報酬がどのような過程で決められたかを非常に分かりやすく説明頂きました。参加された先生方にとっては今後さらにリハビリの成果を出していかなければならない！と身を引き締められる内容だったと思います。診療・介護報酬のダブル改訂があった昨年と比較しますと参加人数は減少しましたが、介護保険に携わっている新人の先生方が増えた印象を受けました。来年度も開催する予定ですので、新人の先生方には臨床での疑問を解決して頂ける場にしてもらえたらと思います。是非ご参加下さい。

医療法人笹本会 おおくに訪問リハビリテーション　千葉美幸

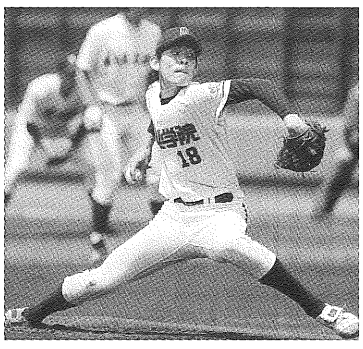
●問い合わせ先：医療保険部　小林泰彦（rehabili@shiranetoku.jp）
介護保険部　河野裕一（choritsu-t@town.ichikawamisato.lg.jp）

社会局 スポーツPT部発

□ チーム紹介「山梨学院大学硬式野球部」

石和温泉病院　奥野泰弘

我々スポーツ理学療法部が山梨学院大学野球部に関わって4年が経ちます。監督は元読売巨人軍のエースピッチャーで2度の沢村賞に輝く高橋一三監督。コーチは山梨学院高校からヤクルトスワローズに1位指名で入団し活躍した伊藤　彰コーチと、共にプロ野球で実績のあるスタッフの下で選手たちは日々厳しいトレーニングに励んでいます。所属するリーグは関甲新学生野球連盟の1部リーグで準優勝2回と残念ながらまだ優勝はありませんが、今年は日本ハムファイターズにドラフト4位で指名された高梨裕稔投手を輩出しプロからも注目されるリーグになっています。我々が対応する傷害は捻挫・肉離れなどの急性外傷や股・膝・腰の慢性障害など様々で圧倒的に多いのは投手・外野手の肩傷害ですが、高梨投手などはコントロールやボールスピードが落ちた時にも最初に相談に来ます。そんな時、投球フォームのチェックはもちろん、微妙な変化にも注意を払いストレッチ・筋力強化・動作指導やバランス・フォーム矯正など様々な角度からアプローチしなくてはなりません。山梨大学病院の小尾先生、市立甲府病院の大森先生と私の3人で試行錯誤しながらもパフォーマンスを高めねばならない重圧を楽しみにしながら関わっています。



●問い合わせ先：社会局スポーツPT部　小尾伸二
（山梨大学医学部附属病院リハビリテーション部内　TEL 055-273-9805）

学術局 学術研修部発

❑ 第3回 学術研修会報告〔参加人数 75人（PT：73人・OT：1人・ST：1人）〕

●日　時　平成25年10月20日（日）10：00～15：00　●場　所　桃源文化会館
●テーマ　『呼吸リハビリテーションの基礎と臨床応用』
●講　師　神戸大学大学院 保健学研究科 地域保健学領域 教授　石 川　　朗 先生

平成25年10月20日、第3回学術研修会が桃源文化会館において開催されました。神戸大学大学院教授の石川朗先生を講師に迎え、「呼吸リハビリテーションの基礎と臨床応用」をテーマに講義をして頂きました。

講義では、呼吸リハビリテーションの目的や効果から人工呼吸器の簡単な考え方まで幅広く分かりやすく教えて下さりました。また、日常あまり重要視していなかった、体温の重要性やABCDEバンドルの考え方、他職種と連携する大切さなどを教えて頂きました。その中で、他職種と連携できない環境でも他の職種の知識を持っておくことは大切だと感じました。午後の実技でも呼吸理学療法の基礎技術を丁寧に教えて頂きました。

今回の研修会を通して新しい知識や考え方を学ぶことができました。この学んだ知識や実技の経験を活かし、臨床現場において実践していきたいと思いました。貴重な研修会を開いていただき、本当にありがとうございました。

石和共立病院　石 本 壮 星

●問い合わせ先：学術局学術研修部　名取大輔
（石和共立病院リハビリテーション科内　TEL 055-263-3131）

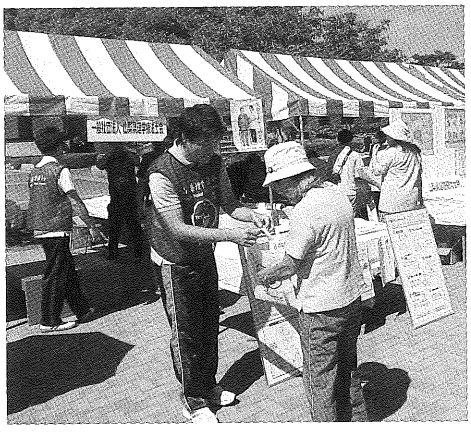
広報局 広報部発

❑ いきいき山梨ねんりんピック2013

初秋とは思えぬまぶしい日差しの中、小瀬スポーツ公園において今年も「いきいき山梨ねんりんピック2013」が9月28日（土）開催されました。

私たち理学療法士会からも、委託事業部・地域連携部・広報部・スポーツ理学療法部から6名の有志が集まり、熱い広報活動を行いました。

今回は、理学療法（士）の相談や広報グッズの配布と「ロコモチェック（ロコモティブシンドローム）」と称して、立ち上がりテストを行ってきました。立ち上がりテストの台は40㎝、30㎝、20㎝、10㎝の高さがあり、両脚→片脚の順番に立ち上がりテストを行います。今年も大盛況で（エコバック目当てかも・・・）、「去年も来たよ。今年は何をするで」「片足で立つのはつらいな」「意外と難しいね」などご自身の身体に関心を持っていただく機会をつくれました。検査された方は19歳から90歳まで122名行いました。



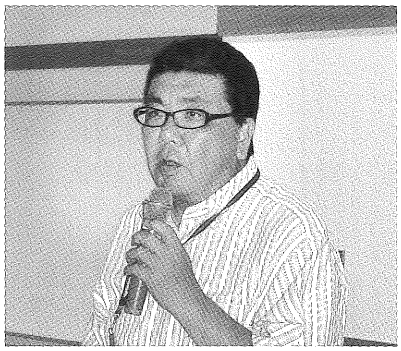
毎年感じられることは、理学療法（士）の認知度は高まってきている印象があります。そこで、病院だけではなく地域に目を向け予防医学等の分野に職域を広げられるよう、今後もさらなる広報活動を頑張っていきたいと思います。

石和温泉病院　清 水 真 治

●問い合わせ先：広報局広報部　清水真治
（石和温泉病院理学療法室内　TEL 055-263-0111）

学術局 生涯学習部発

❑ 平成25年度 第1回 新人教育プログラム



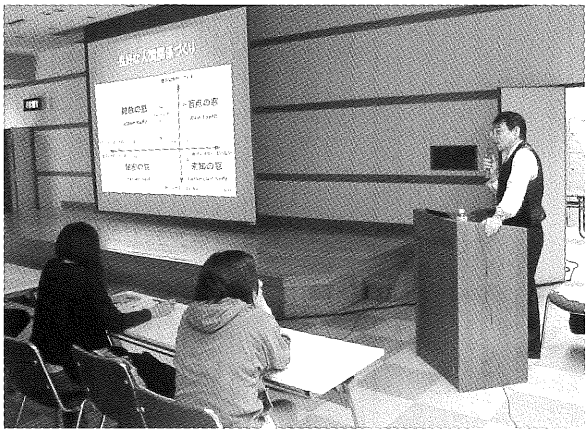
平成25年9月12日に、新人研修会が行われました。講義では、山梨県理学療法士会会長の小林伸一先生、副会長の磯野賢先生にご講義頂きました。理学療法に関連する法律や、これまでの山梨県理学療法士協会の歴史、生涯学習システムなどについて、わかりやすく説明して頂き、理学療法士としての責務を再認識すると共に、より一層力を入れて知識を高めていきたいと思いました。そして、同じ山梨県で理学療法士になった仲間たちと共に、互いに成長し合える関係を築きながら、山梨県を盛り上げていけたらいいなと思いました。

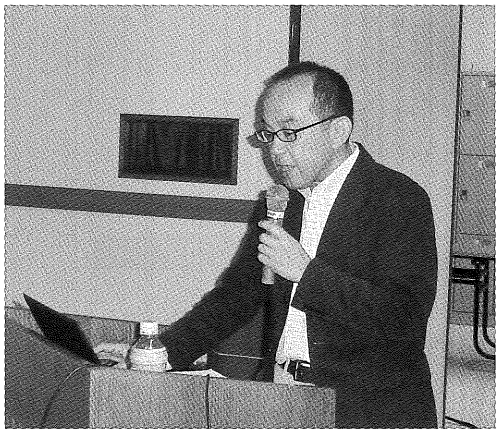
山梨リハビリテーション病院　三 井 かおり

❑ 平成25年度 第2回 新人教育プログラム

9月25日に新人教育必須プログラムの第二回目が山梨県立青少年センターで開催されました。講師はあけぼの医療福祉センターの有泉静佳先生と、健康科学大学の三科貴博先生で、リスクマネジメントと人間関係及び接遇について講義をして頂きました。リスクマネジメントでは、インシデントを起こさない為の注意点や、なかなか経験することができないＮＩＣＵの理学療法を動画を使用して講義して頂きました。また人間関係及び接遇の講義では、他職種や患者様に信頼を得るための接遇のポイントや注意点を分かりやすく説明して下さり、医療従事者として必要なことを学ばせて頂きました。今後も新人教育プログラムを受講し、成長して患者様に還元していきたいと思います。

山梨リハビリテーション病院　樋 口 康 平





●問い合わせ先：学術局生涯学習部　遠藤公士
（山梨リハビリテーション病院理学療法課内　TEL 0553−26−3030）

お知らせ

事務管理局より

各種申請手続きについて

平成25年をもって、会員からの紙申請受付は廃止になりました。

■紙申請廃止への経緯

協会のシステム整備によって、各種申請がWEBから実施できるようになり、全体の申請の7割がWEBから申請が行われている現状があります。

そこで、士会業務の軽減・迅速化、経費の削減のため等、紙申請を廃止することが、理事会で承認されました。

■廃止される紙申請の内訳：入会申請、異動申請、休会申請、退会申請、復会申請

■廃止日：平成25年12月末日

■廃止日以降の対応について

廃止日（平成25年12月）以降、WEBの環境がないなど、紙面申請しかできない会員様は、協会事務局へご連絡いただきますようお願い致します。協会から個別に用紙が届きます。

慶弔申請の窓口は事務管理局です

■慶弔事項（一親等及び配偶者）が発生しましたら、事務管理局まで速やかにご連絡をお願いします。

■公益社団法人日本理学療法士協会
弔事への対応ならびに見舞金の支給に関する規定について

協会会員に弔事および被災があったときの弔意行動および見舞金について定めた規定があります。詳細は県士会ホームページをご覧ください。

厚生労働省医政局通知（理学療法士の名称の使用等について）について

平成25年11月27日に厚生労働省医政局医事課課長から出された通知について、公益社団法人日本理学療法士協会の半田一登会長からのメッセージを士会ホームページに掲載いたしました。是非ご覧ください。

財務部より

会費納入ご協力ありがとうございます。
会費未納の会員の方々にお知らせ申し上げます。今後、確認のご連絡をさせていただく場合がございます。予めご了承ください。

士会専用事務所の使用について

平成25年6月に設立しました士会専用事務所は、会員の皆様にも学習会などで広くご利用いただきたいと思います。ご希望の方は事務管理局までご連絡ください。

●問い合わせ先：事務管理局　藤田　yamanashi.pt.jimu@gmail.com

平成25年度 公開講座案内

●講　師：福 西 崇 史 さん（元サッカー選手）

●テーマ：プロサッカー選手として、活躍し続けるために ～組織の中で自分を活かす～

●対　象：どなたでもご参加いただけます

●日　時：平成26年3月23日(日)　14：00～（13：30開場）

●会　場：山梨県立文学館　講堂

●問い合わせ先：企画局公開講座部

上田（りほく病院リハビリテーション室内　TEL 0551-28-8821）

福西崇史さん プロフィール

愛媛県新居浜工業高校卒業後、1995年ジュビロ磐田所属（～2007年）。その後、FC東京所属を経て、東京ヴェルディで活躍。日本代表選手として、コンフェデレーションズカップドイツ大会（2005年）、ドイツ・ワールドカップ出場（2006年／オーストラリア戦・クロアチア戦）等で活躍。

✣経　歴

1976年9月1日　愛媛県新居浜市生まれ

新居浜工業高校卒業

✣サッカー歴

1995年～2007年　ジュビロ磐田

2007年～2008年　FC東京

2008年～2009年　東京ヴェルディ

✣代表歴

1999年　コパ・アメリカ　パラグアイ大会

2002年　日韓・ワールドカップ出場

2003年　東アジア選手権　日本大会

2004年　AFCアジアカップ　中国大会

2005年　コンフェデレーションズカップ　ドイツ大会

2006年　ドイツ・ワールドカップ出場（オーストラリア戦・クロアチア戦）

✣個人成績

通算成績：Jリーグ・カップ戦（432試合・70点）

日本代表：64試合7得点

ベストイレブン / ジュビロ磐田（1999年・2001年・2002年・2003年）

第13回 地域理学療法研修会のお知らせ

1．テ ー マ	『訪問セラピストが考える生活をみる視点』
2．日　　時	平成26年1月22日（水） 19：00～20：45（18：30受付）
3．場　　所	県立青少年センター別館２階多目的ホール　甲府市川田町517番地
4．講　　師	医療法人 石和温泉病院 訪問リハビリテーション室　主任　小林　司 先生
5．対　　象	理学療法士会会員および医療福祉関連職種の方
6．参加定員	150名（定員を超える応募があった際には当方にて選考させて頂きま
	すことをご承知おきください）
7．参 加 費	無　料
8．申し込み	当士会HP（http://ypta.jp）内の申込み用紙に記入し、下記アドレス
	（chiikirenkei19@yahoo.co.jp）に添付してお申込みください。

●お申込み先　お問い合わせ先
巨摩共立病院内 山梨県理学療法士会 地域連携部　三枝直人
TEL 055-283-3131　FAX 055-282-5614　e-mail：chiikirenkei19@yahoo.co.jp

関東甲信越スポーツメディカルサポート連絡会議より

社会局スポーツ理学療法部　小尾伸二

３年前、神奈川県士会の渡邊先生より関東甲信越でスポーツのメディカル・サポートについて協力し合える事がないかという提案の基に、まずは各都県の現状や問題点を情報交換する連絡会議として発足したのが「関東甲信越スポーツメディカルサポート連絡会議」で、山梨からは私が代表として出席させてもらっています。

昨年会議の中で山梨からは、インターハイにおいて今後の開催ブロックでPTが参入しやすくなるためにも各都県の積極的な参入を呼びかけましたが、士会として参入できたのは山梨だけで、他県はチームや競技団体とのつながりで個人的に数人のPTが参入するだけのようです。山梨県士会のスポーツ活動は充実している方だと思われます。

また、東京では2020年東京五輪に向けてすでに準備が加速していますが、ロンドン五輪で関わったPTは200人以上であったため、活躍できる人材の確保と育成が急務となっています。近県からも何かしらの資格や認定を持ったPTを選抜し育成するとなると協会のスポーツ認定・専門理学療法士の取得が条件になる可能性があります。オリンピックに参加したい方は速やかにスポーツ専門領域の認定を申請した方が良いでしょう。

さらに、WHOの提唱する「運動器の10年」世界運動に呼応し、日本では「スクール・トレーナー」として運動器傷害に対応できるPTなどの人材を小中学校に配備する計画が進んでいます。ここでもまた、運動器やスポーツの認定理学療法士が条件となる可能性がありますので、小中学校でPTの知識技術を活かしたい方も認定の申請をお勧めします。

このように様々な情報を交換でき有意義な連絡会議となっています。新たな情報が入ればまた皆様に随時ご報告していきたいと思います。

リレーエッセイ ～途絶えることのないバトンを君に～

『リレーエッセイ』とは・・・

士会員を対象に、身近な出来事・お国自慢・今はまっていること・病院紹介など、何でもよい（ただし、誹謗や中傷の内容は除外します）ので400字程度で執筆していただき掲載していく企画です。

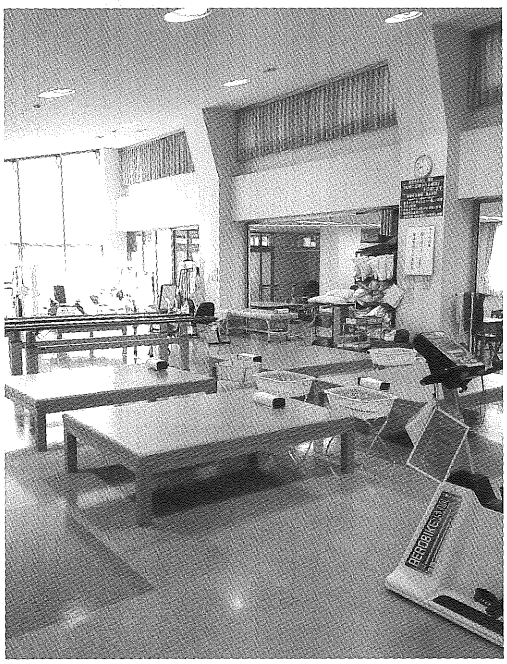
今までの Supporters にあった「会員のひろば」と違い、会員同士の輪を広げるということで、執筆された方が次の執筆者を決めて、紹介していただくという点です。無理やり書いていただくわけではなく、執筆者同士の繋がりを大切にしていきたいと考えていますので、依頼を受けた方は快く執筆していただけたらと思います。

Part22-1

笛吹中央病院　小野美奈

つつじが崎園の鈴木智恵先生からバトンを受け取った、笛吹中央病院の小野美奈です。

私の病院は平成14年に石和町立峡東病院から上尾中央医科グループへと民間委託されました。そして、平成18年6月新棟移転に伴い病院名を笛吹中央病院と変え、現在に至ります。150床の入院病棟をもつ急性期病院として、地域住民の方達に愛される病院をモットーに、医療活動をしています。



リハビリテーション科もスタッフ40人を越え、入院から外来、訪問や予防事業に至るまで、幅広いニーズに応えられるよう活動しています。入院していた時から、自宅へ帰ってからの外来フォローまで担当者が一貫して行えるところが、当リハビリテーション科の特徴です。急性期の病院ということで、大変な事や辛い事も沢山ありますが、担当患者様が社会復帰されていく姿をみる事が出来たときは、本当にこの仕事をやっていて良かったと思います。

これからも患者様やその家族の方達により良い理学療法を提供できるよう、日々努力して行きたいと思います。

次回は、**『一宮温泉病院の小林桂子先生』**にバトンを渡したいと思います。

Part22-2

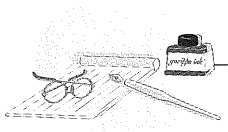
石和共立病院　渡邉ひとみ

帝京医療福祉専門学校時代の同期である岩垂舞さんからバトンを受け取りました，石和共立病院の渡邉ひとみです．

私は入職して今年で６年目になりますが，実質経験年数は４年ほどです．それは，私には４歳と２歳になる２人の子供がいるからです＾＾産休・育休をとり，連続して働くことが出来ず知識や技術面では不安が沢山あり，また中堅の立場としての役割が果たせていないのではと日々申し訳ない気持ちを持ちながら働いています．家事・育児・仕事の両立も大変ですが，働きやすい職場や理解し支えてくれる仲間がいるから今頑張ってこれています（＾＾）/それ以上に，子供たちの存在に一番癒し効果がありますが・・・(＃”）子供からもらえる勇気やパワーってものすごい力があるんですよね・・・!! ほんと・・・子供っていいですよっ（＾＾）v

これからは，今抱えている不安が自信に繋がるよう，呑みやボード等で息抜きもしつつ（笑），日々研鑽していき365リハを頑張っていこうと思っています!!!

次回紹介者は、『甲府脳神経外科病院の鈴木政輝先生』です。



原稿を募集しています

会報部では会員の声を少しでも多く取り入れたいと考えております。テーマ等は自由です。

1．研修会・勉強会等の開催案内・報告内容など

2．各種お知らせ事項など

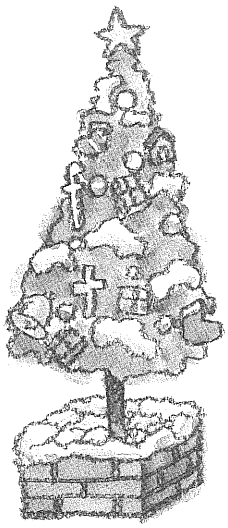
3．体験記など　4．その他

注意　内容の規定はありませんが、個人・団体等の中傷あるいはこれに準ずるものは不可。

※第141号発行は、3月上旬を予定している為、締め切りは、1月下旬です。

●問い合わせ先：広報局 会報部　菊池　悟
一宮温泉病院 いちのみや訪問看護ステーション
TEL 0553-20-5255　E-mail:kikuchisatoru560905@yahoo.co.jp

編集後記



今年もいよいよ押し詰まり、寒さがより一層厳しくなってきましたが、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか？ 今回は先日開催されました、学術研修会を特集とし、何かと忙しい年末ではございますが無事会報誌をお届けすることが出来ました。

山梨県理学療法士会が一般社団法人へと法人化し、早９ヶ月が経過し、会報誌も士会発足より本号で140号となりました。これまでの歴史を踏まえて、今後も士会員の活動等をお伝えできるように会報誌作成を心がけていきたいと思いますので、皆様のご意見、ご感想等を頂けますと幸いです。

寒さが厳しくなり、年末でお忙しい毎日とは存じますが、どうかご自愛くださいますようお願い申し上げます。どうぞよいお年をお迎え下さいますようお祈りいたします。

菊池　悟

● 発　行 ● 一般社団法人 山梨県理学療法士会

● 代　表 ● 小林 伸一

● 企画・校正 ● 菊池　悟　水上　卓　糸井 美里　矢崎 博美　深川 洋平
小尾 文香　野澤 和矢

● 編集・印刷 ● 有限会社 ナカガワ

● 会報部 ● 〒405-0077 山梨県笛吹市一宮町坪井 1754
いちのみや訪問看護ステーション TEL 0553-20-5255／FAX 0553-20-5256
一　宮　温　泉　病　院 TEL 0553-47-3131／FAX 0553-47-3434
E-mail:kikuchisatoru560905@yahoo.co.jp